

豊島区立郷土資料館

2018年度第3回収蔵資料展

「書く」ということ



2019年2月22日（金）～5月12日（日）

開館時間：午前9時～午後4時30分

休館日：毎週月曜日、第3日曜日、祝日

※4月29日～5月6日は休館しております

入館料：無料

豊島区立郷土資料館 The Museum of Toshima City

〒171-0021 豊島区西池袋2-37-4 としま産業振興プラザ(IKE・Biz)7階

TEL 03-3980-2351 <http://www.city.toshima.lg.jp/bunka/bunka/shiryokan/index.html>



文字を「書く」ということは、幼少時から行う日常の動作ですが、長い歴史を持つ動作でもあります。また、「書かれたもの」は、時には数百年以上前の過去を知る術となり、時には「書跡」として芸術にもなります。

今回の収蔵資料展では、「書く」という一つの動作に着目します。近年では電子機器の普及により、文字を書く機会も少なくなっていますが、私たちの暮らしの中には様々な場面で「書くこと」・「書いたもの」に触れる場面があります。

書くために必要となる筆・墨を中心とした道具や知識、書かれたことによって過去の情報を知ることのできる古文書や日記などに、さらに初公開となる掛軸や扁額などの揮毫作品を通じ、郷土資料の多様性・魅力をご紹介します。

関連講座・ワークショップのご案内

① 鈴木信太郎記念館開館1周年記念コラボ「春から始める書画鑑賞講座」(要事前申込)

書画を鑑賞する際のみどころ等を、鈴木信太郎記念館・座敷棟の床の間にかけてられた掛軸などを見ながら学びます。

講師：岩間真知子氏(元東京国立博物館特別研究員・日本医史学会代議員)

日時：3月10日(日)午後2時～3時30分

場所：豊島区立鈴木信太郎記念館(豊島区東池袋5-52-3)

丸ノ内線「新大塚」駅より徒歩3分、JR「大塚」駅・都電「大塚駅前」停留所から徒歩8分

参加費：無料 定員：20名

※本講座は座布団に座って聴講します。椅子が必要な方は郷土資料館までお電話にて御相談ください。



② 「郷土資料講座・ある菓子商の歴史を読むー歴史的空間再現の試みー」(要事前申込)

郷土資料には日付や姓名だけではなく事件や思い出、様々な事柄が書かれています。そこから、江戸から明治・大正・昭和それぞれの時代における諸相を探る試みについて学びます。

講師：鈴木靖氏(新宿区立漱石山房記念館館長)

日時：3月16日(土)午後2時～3時30分

場所：としま産業振興プラザ3階・研修室2(西池袋2-37-4)

参加費：無料 定員：40名

③ ワークショップ「はんこペタペタ!春のグリーティングカード作り」(申込不要)

当館で制作した消しゴムはんこを使い、お礼やお祝いを伝えるカードを作ります。

日時：3月30日(土)午後2時～4時(所要時間20分程度・時間内にご来場ください)

場所：郷土資料館レファレンスルーム(西池袋2-37-4 としま産業振興プラザ7階)

参加費：無料 定員：なし(時間入れ替え制)

展示みどころ解説

担当学芸員による展示解説を行います。(申込不要・直接展示室にお集まりください。)

2/23(土)・4/27(土)
午後2時～(40分程度)

☆上記①・②の講座への参加をご希望される方は、往復はがき(講座ごとに1人1枚)に(1)氏名・ふりがな(2)住所(3)電話番号(4)希望講座名を明記の上、3月1日(金)必着で郷土資料館までお送りください。応募者多数の場合は抽選となります。

豊島区立郷土資料館

〒171-0021 豊島区西池袋2-37-4 としま産業振興プラザ(IKE・Biz)7階

(JR・地下鉄・私鉄「池袋」駅西口から徒歩7分)

TEL 03-3980-2351

<http://www.city.toshima.lg.jp/bunka/bunka/shiryokan/index.html>

